



いたびつ
板櫃 <校訓>
真理の探究
自主躍進

令和5年5月8日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

現代の子どもに足りないもの・・・それは「3つの間(ま)」

○“今の子どもには、3つの「間(ま)」が足りない”

板櫃中学校では、生徒が読書に親しむための環境づくりとして、学校図書館職員の阿部先生が本と出会い、親しむことができる環境づくりに努めています。本当にきれいに整理された図書室です。板櫃中学校では、すべての生徒が、自主的に、いつでもどこでも読書活動ができるようにするための推進体制の整備に努めていきたいと考えています(学年の階や校長室前に学校文庫を準備していますので、自由に読んでみましょう)。

【保護者の皆様へ】令和5年度 交通安全について

このことについて、下記の通り、北九州市教育委員会生徒指導課、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課より通知がありました。

については、安全な道路交通環境づくりの促進について学校も機会を見て指導していきませんが、ご家庭でも交通安全についてお話をしていただけたらと思います。

<通知文概要>

- ① 自転車乗車時におけるヘルメット着用が努力義務化されたことについて、児童生徒に改めて周知するとともに、自転車利用に関するルール遵守やマナーに関する指導の徹底をお願いします。
- ② 今年に入り福岡県内で交通死亡事故が多発しているため、4月19日、福岡県知事が「交通死亡事故警戒宣言」を発令しました。交通ルールやマナーを守り、少し遠回りでも横断歩道を利用するなど、交通事故防止に努めるよう指導の徹底をお願いします。

③ 中学生に対する交通安全教育の推進

中学生に対する交通安全教育は、日常生活における交通安全に必要な事柄、特に、自転車で安全に道路を通行するために、必要な技能と知識を十分に習得させるとともに、道路を通行する場合は、思いやりをもって、自己の安全ばかりでなく、他の人々の安全にも配慮できるようにすることを目標とすること。

交通安全教育の実施にあたっては、家庭及び関係機関・団体等と連携・協力を図りながら、学習指導要領等に基づく保健体育科、特別活動はもとより各教科等の特質に応じ、学校の教育活動全体を通じて、歩行者としての心得、自転車の安全な利用、自動車の特性、危険の予測と回避、標識等の意味、応急手当等について重点的に指導すること。

また、自転車乗車時における乗車用ヘルメット着用の努力義務化、自転車で路側帯を通行する際の左側通行、自転車による危険な交通違反を繰り返した者に対する自転車運転者講習制度などの内容も踏まえ、中学生の自転車利用に関するルール遵守やマナーに関する指導を徹底すること